

令和5年12月定例会の概要

令和5年12月定例会が、11月29日から12月14日までの期間で開催され、提出した全ての議案を可決、承認しました。志翔会からは本田豊栄議員、加藤漢太議員、森合秀行議員、久野三男議員が市政一般質問を行いました。今号では一般質問の内容（抜粋）、12月補正予算の主な内容等についてご報告いたします。



1924(大正13)年の市制施行を記念して築造された郡山公会堂

令和5年12月補正予算について

令和5年12月補正予算は、新規課題・市民生活の新たな需要へ対応するため、未来への戦略的投資の拡充、循環型社会強化・気候変動対応（カーボンニュートラル）や住民サービス・施設等の改善に要する予算が計上されました。

また、事務事業の確定等による減額などの整理予算の計上、市制施行100周年記念事業の円滑な実施や令和6年度当初から速やかに事業着手を図るため、債務負担行為の設定等の議案が提出され、可決しました。

可決された議案は、予算議案15件、条例議案13件、人事案件2件、その他議案25件の計55件。予算議案では、一般会計が38億192万円増額の1,519億5,768万円、特別会計が6億297万5千円減少の1,053億7,727万2千円、合算で44億489万5千円増額の2,582億7,644万9千円となりました。今回の定例会では、市が直面する課題への対応に向けた議論が活発に行われまた。また、市民の声を反映した政策の実現に向けて、今後も積極的に議論を重ねてまいります。

令和5年12月補正予算ピックアップ

低所得世帯の光熱費等を支援：22億160万円

郡山市が実施する家計急変世帯への支援策をご案内します。郡山市は、原油価格や物価高騰等に伴う低所得者世帯の負担軽減を図るため、令和5年度低所得者世帯等に対する臨時特別給付金を支給します。

給付対象世帯

- ① 基準日（2023年12月1日）に郡山市在住である世帯全員の令和5年度分の住民税が非課税である見込みで29,500世帯の方
② ①のほか、令和5年1月以降の家計が急変し、直近の収入減少により住民税非課税相当とみなされる世帯（郡山市独自施策）で見込みで500世帯の方

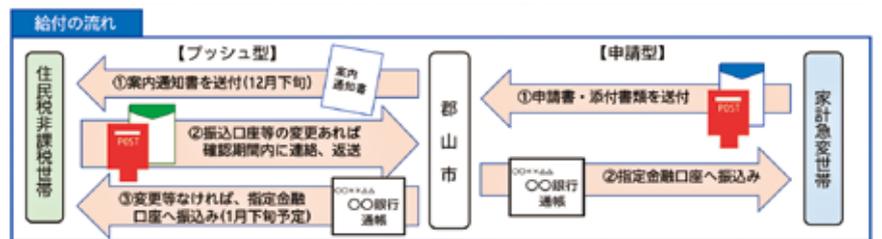
給付額

いずれの世帯も7万円

給付方法

住民税非課税世帯は、市から案内通知書が送付されます。（振込口座等の変更があれば確認 期間内に連絡、返送してください）。変更などがなければ、案内通知書に記載の指定金融機関の口座へ、1月下旬から振込されます。

家計急変世帯は、申請をしていただく様になります。申請書に必要事項を記入し、添付書類を同封して市役所へ郵送してください。指定金融機関の口座へ、1月下旬から振込されます。



議員紹介

氏名 期数/地区 連絡先
会派役職 市議会役職

Accountant (Party Accountant)
Construction/Waterworks
Shirayama City Urban Planning Review Committee
Waste Reduction Strategy Special Committee
Honda Toyoei 1st Term Shirayama Ward
972-2407

Public Information
Construction/Waterworks
Public Information
Okakawa Hirokazu 1st Term Kojima Ward
953-5617

Public Information
Environment/Economy
Shirayama Regional Fire and Disaster Prevention Association Member
Usui Takahiro 1st Term Anzai Ward
946-0063

Accountant (Official Activity Fee)
City Administration
Culture/Welfare
Ito Norio 1st Term Kanku Ward
983-3037

Public Information
Culture/Welfare
Public Information
Kato Kanta 1st Term Kuzumi Ward
090-2027-4131

Executive Director
City Administration (Committee Chair)
General Affairs/Finance
Shirayama Regional Fire and Disaster Prevention Association Member
Mori Ai 3rd Term Anzai Ward
953-7885

Advisor (Former Mayor)
Environment/Economy
Shirayama Regional Fire and Disaster Prevention Association Member
Shota Takashi 5th Term Santada Ward
945-2015

Mayor
City Administration
Culture/Welfare (Committee Chair)
Shirayama Regional Fire and Disaster Prevention Association Member
Konai Toshio 5th Term Kikyo Ward
942-7967

Deputy Mayor
City Administration/General Affairs/Finance
Shirayama City Urban Planning Review Committee
Waste Reduction Strategy Special Committee (Committee Chair)
Hisano Mitsuaki 5th Term Hachiman Ward
943-3200

City Council Chairman
Shirayama Regional Fire and Disaster Prevention Association Chairman
Sato Masaki 5th Term Ohtake Ward
951-2316

Consultant
City Supervisory Committee
Construction/Waterworks
Ooshiro Hiroyuki 6th Term Anzai Ward
945-6566

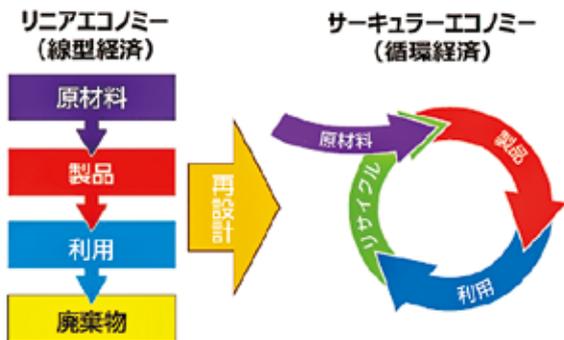
# 12月定例会一般質問

## 概要

### 郡山市サーキュラーエコノミー社会の実現について

**問** 実現への取組みに向けたファーストステップ（第一歩）は。 **本田 豊栄**

**答** こども部や産業観光部との協奏、また、環境部と農林部との連携を行っており、今後もサーキュラーエコノミー社会の推進に努める。



### 郡山市東部地域の諸課題から

**問** 中田町において、都市計画の各種手法を活用した土地利用については、どのような取組みであるのか。

**答** 既存集落の区域を指定し、区域内の空き地や空き家の利活用のため、自己用住宅等の開発行為を容易に行えるようにするもの。

### 障がい者雇用促進につながる市の取組について

**問** 就労継続支援施設の整備について。 **加藤 漢太**

**答** 現在策定をすすめている2024年度から2026年度までの3年間を計画期間とする「第6期郡山市障がい者福祉プラン」において、第5期プランにおける障害福祉サービスなどの利用実績等を踏まえ、利用者のニーズに応じた適切な障害福祉サービス等の見込量について設定し、就労継続支援事業の整備に努める。



### チャレンジショップ事業の展開について

**問** チャレンジショップは、市民の創業意欲が高いこと、郡山市でも商工会議所が実施していることなどから、郡山市にも適した施策である。今後も新たな団体等と連携して、本腰を入れて展開すべきと考えるが、見解は。

**答** チャレンジショップ事業の展開は経営指導員を有する商工会議所・商工会や、実際に事業者としての経験を有する商店街等の団体との連携による実施が有益である。今後においても、商工会議所をはじめ、これまで本事業の実績のない商工会、商店街など新たな団体等と、その特色を生かした協奏・連携を図るとともに、若い起業家や創業希望者、消費者など幅広く意見を伺いながら、引き続き、チャレンジショップ事業や商店街活性化に取り組む。



### 市長部局からのアプローチによるいじめ解消体制の構築について

**問** 本市でもいじめの迅速な解決のために市長部局からのアプローチによる迅速ないじめ解消体制の構築について検討すべきと考えるが、見解は。 **森合 秀行**

**答** こども家庭庁では、市長部局からのアプローチによるいじめ解消に向けたモデルケースの構築を目指すとしており、複数の自治体の実証地域となり、市長部局にいじめ問題対策を行う部門を設置し、いじめの長期化・重大化防止の取り組みを始めたところである。本市でも、国や他市で行う施策の効果等について検証するとともに、市長部局によるいじめ解消の調査研究を重ね、体制の構築について検討していく。

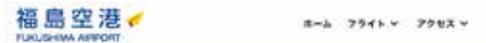


### 台湾との交流について

**問** 2024年3月から台湾の桃園国際空港と福島空港との間で定期便が新規就航する。また、本市では、2023年12月に台湾の台北において観光誘客プロモーションを実施した。そこで、台湾からの観光誘客、本市と台湾との交流についてどのように考えているのか。

**答** 2023年10月に実施した台湾在住のインフルエンサーなどを招いたモニターツアーで築いたネットワークやSNSなどを通じて情報発信に取り組むとともに、日本台湾交流協会等、関係団体との連携を深め、県などと連携し、半導体産業をはじめとする先端産業の誘致に努め、産業、スポーツ、医療等各分野一体となって、次の100年に向けた持続可能な観光地域づくり

と、本市経済の発展に取り組んでいく。



祝：福島⇄台湾便就航



1/16~3/29 毎週、火・金曜日 往復運航  
福島空港 → 台北桃園空港 → 福島空港  
16:00 → 19:05 10:30 → 14:30

福島空港ウェブページから

### インターネット投票について

**問** 有権者から、インターネットや郵便による投票についての要望があるかと思うが、当局はどのように捉えているのか。 **久野 三男**

**答** 投票所に赴くことなくパソコンやスマートフォンで投票できるようになれば、若者の投票率アップにも期待できる。しかし、システムトラブル等の危険性や望まない投票を強要される恐れ等数多くの課題も想定され、必然的に法整備が必要で早急な実施は困難と考えられる。



### 駅西口ロータリーを安全に

**問** 駅西口ロータリーの危険と考えられる点について、タクシーとの交差点の混雑が原因で、JRの列車の発着時間に間に合わない場合がある。出口は4車線あるところから、入口も4車線にすることで改善されると思うが、見解は。

**答** ロータリー内から接続する道路へ円滑に移動できるよう、直進車線は、県道郡山停車場線（通称駅前大通り）に合わせて2車線としており、その両側に右左折専用の車線を設置している経緯がある。ロータリー内に入る錯綜を避け安全に入場できるように、一般車とタクシーに分け、それぞれの専用車線を整備していた。



### ■ お詫びと訂正 ■

前号掲載の議員紹介欄の記載に誤りがありました。大河原議員とご関係者の皆様に深くお詫び致します。  
誤) 大河原弘勝 正) 大河原裕勝

### 編集後記

今回の編集から森合秀行議員から受け継いでお送りします。新人議員5人、先輩議員から志翔会イズムをもしっかり心に刻みつつ、市民の皆様の生活を守り、更なる向上のため努めてまいります。  
(加藤 漢太)